

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	合成耐火被覆小委員会		主 査 名：河野 守 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：田中哮義 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼構造部材を対象に、合理的な合成耐火被覆の耐火性能評価方法の検討 ・ (2011 年度) 前年度公表した合成耐火被覆の系統的整理及び実際に即した施工方法のまとめを発展させ、学会指針化を目指して検討 ・ 部材の取り合い部等で、実務上、必要な耐火被覆のあり方に関する明確なガイドランスのない部分に関して、必要な耐火性能の観点から整理 ・ (2012 年度) 合成耐火被覆学会指針 (素案) としてとりまとめ 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし 河野守 (東京理科大)、白岩昌幸 (建材試験センター)、大金利郎 (ロックウール工業会)、佐藤博臣 (ERS)、田坂茂樹 (日本建築総合試験所)、棚池裕 (東京理科大)、成瀬友宏 (国総研)、藤雅史 (エーアンドエー工事)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv. aij. or. jp/bouka/s1/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 部材取り合い部等のあり方については、当該カ所のリストアップを行い、必要な耐火性能の観点からの整理を継続して行っている。 2. 前項の検討が優先されており、合成耐火被覆の指針化に向けた検討は進んでいない。
委員会活動の問題点・課題	1. 合成耐火被覆を含めて、部材の取合い部等のあり方を火災安全設計全体像の中で検討することが必要。 2. シンポジウム等の開催の検討が遅れている。